

## 総合評価方式の実施状況について(平成25年度の契約実績)

項 目	特別 簡易型	簡易型	標準型	復興型	計	参考 H24計	結果(備考)	
1. 対象件数(件)	251 (45%)	97 (17%)	15 (3%)	192 (35%)	555 (100%)	618 (100%)	・東日本大震災の影響により、H22(1, 232件)と比較して、H23～H25においては総合評価方式の件数が大幅に減少した。 ・復興型の創設により標準型と簡易型の全案件に占める割合がH24と比べ33%から20%に減少した。	
低入札価格調査制度	236 (94%)	93 (96%)	13 (87%)	186 (97%)	528 (95%)	534 (86%)		
施工体制事前提出方式	15 (6%)	4 (4%)	2 (13%)	6 (3%)	27 (5%)	84 (14%)		
2. 落札率(%)								・条件付一般競争入札(価格競争)に比べやや低い傾向はH24と同じである。 ※平均落札率は、落札率の単純平均を記載している。(加重平均(=落札額の合計/予定価格の合計)ではない。)
平均	93.08	93.52	92.84	94.38	93.70	92.61		
最高	100.00	99.90	99.25	100.00	100.00	100.00		
最低	86.40	85.00	85.79	84.71	84.71	85.47		
※条件付一般競争入札(価格競争)の平均						94.57	93.23	
3. 入札参加者数(者)								・条件付一般競争入札(価格競争)に比べ少ない傾向はH24と同じであり、減少傾向にある。
平均	2.8	2.4	3.5	2.2	2.5	2.8		
最大	11	8	8	12	12	11		
最小	1	1	1	1	1	1		
※条件付一般競争入札(価格競争)の平均						3.4	4.3	
4. 加算点(点)	(10点)	(35点)	(55点)	(75点)	(10点)	%	・平均得点率はH24と比べ同程度となっている。 ※計は単純平均得点率	
平均	7.3	23.8	25.0	62.5	7.1	71.6		
最高	10.0	33.5	48.0	62.5	10.0			
最低	0.0	1.5	2.0	62.5	0.0			
5. 評価基準価格を下回った件数(件)・・・評価基準価格を下回った入札参加者があった案件								・評価基準価格を下回った事例の発生率はH24と比べて減少した。 ※入札額が評価基準価格を下回った場合、入札額ではなく評価基準価格で評価する。
a 件数	57	15	3	22	97	138		
件数/実施件数	22.7%	15.5%	20.0%	11.5%	17.5%	22.3%		
b 落札者逆転	12	5	0	5	22	16		
b/a 落札者逆転件数/件数	21.1%	33.3%	0.0%	22.7%	22.7%	11.6%		
6. 価格逆転件数(件)・・・価格(入札額)が1位以外で落札者となった案件								・入札額が1位以外で落札者となった案件はH24と比べて減少した。
件数	56	20	3	32	111	198		
逆転件数/実施件数	22.3%	20.6%	20.0%	16.7%	20.0%	32.0%		

総合評価方式の実施状況について(平成25年度の契約実績)

項目	特別簡易型	簡易型	標準型	復興型	計	参考H24計	結果(備考)	
7. 落札者の状況(件)								・価格1位の者が落札者になった件数が444件、80.0%である一方、加算点が1位の者が落札者になった件数が455件で82.0%となっており、加算点=1位が有利である。
価格=1位 加算点=1位	159 (63.4%)	61 (62.9%)	11 (73.3%)	138 (71.9%)	369 (66.5%)	350 (56.6%)		
価格=1位 加算点=2位以下	36 (14.3%)	16 (16.5%)	1 (6.7%)	22 (11.5%)	75 (13.5%)	70 (11.3%)		
価格=2位以下 加算点=1位	45 (17.9%)	13 (13.4%)	3 (20.0%)	25 (13.0%)	86 (15.5%)	147 (23.8%)		
価格=1位以外 加算点=1位以外	11 (4.4%)	7 (7.2%)	0 (0.0%)	7 (3.6%)	25 (4.5%)	51 (8.3%)		
8. 低入札価格調査の状況								
調査基準価格を下回った件数	30 (12.7%)	10 (10.8%)	1 (7.7%)	15 (8.1%)	56 (10.6%)	80 (15.3%)		
失格基準による排除件数	20	2	0	6	28	27		
直接工事費基準	8 (40.0%)	0 (0.0%)	0 —	1 (16.7%)	9 (32.1%)	19 (70.4%)		
共通仮設費基準	7 (35.0%)	1 (50.0%)	0 —	2 (33.3%)	10 (35.7%)	13 (48.1%)		
現場管理費基準	8 (40.0%)	1 (50.0%)	0 —	3 (50.0%)	12 (42.9%)	13 (48.1%)		
一般管理費基準	5 (25.0%)	0 (0.0%)	0 —	2 (33.3%)	7 (25.0%)	9 (33.3%)		
辞退による排除件数	4	5	0	2	11	52		
調査による排除件数	2	0	0	1	3	5		
低入案件のうち排除した割合	46.7%	80.0%	0.0%	46.7%	51.8%	90.0%		
低入案件のうち契約した件数	16 (53.3%)	2 (20.0%)	1 (100.0%)	8 (53.3%)	27 (48.2%)	8 (10.0%)		

## 総合評価方式の実施状況について(平成25年度の契約実績)

項 目	特別簡易型	簡易型	標準型	復興型	計	参考 H24計	結果(備考)	
9. 施工体制事前提出方式における失格基準該当件数(件)など							<p>・H24では3件の辞退があつたが、H25では特別簡易型で2件となった。 ・詳細調査をして排除した案件はH24、H25ともなかった。</p> <p>※入札額にかかわらず失格基準①～④を適用し、該当した場合、失格となる。 ※調査基準価格を下回った場合はさらに失格基準⑤(純工事費基準)を適用し、該当した場合、詳細調査の対象となる。</p>	
失格基準(⑤を除く)による排除件数	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (3.7%)	2 (2.4%)		
失格基準①(現場管理費基準)	—	—	—	1 (100.0%)	1 (100.0%)	2 (100.0%)		
失格基準②(一般管理費基準)	—	—	—	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)		
失格基準③(元下適正化基準)	—	—	—	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		
失格基準④(元下適正化基準)	—	—	—	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		
上のうち、調査基準価格を下回った件数	0	0	0	0	0	0		
失格基準⑤(純工事費基準)該当件数	0	0	0	0	0	0		
辞退による排除件数	2	0	0	0	2	3		
詳細調査による排除件数	0	0	0	0	0	0		
調査基準価格を下回って契約した件数	2 (13.3%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (14.8%)	3 (3.6%)		
10. 評価項目毎の入札参加者得点割合(%)							<p>・H24と比べ同程度となっている。</p> <p>・H24と比べ「資格保有」での加点が増加した。</p>	
企業の技術力	施工能力	(2点) 85.4	(1点) 81.9	(1点) 82.0	(2点) 81.3	83.3		83.9
	工事成績	(1.5点) 69.2	(1点) 58.2	(1点) 52.0	(1.5点) 71.3	67.3		69.2
	優良工事(1点)	—	16.0	18.0	—	16.3		14.4
	品質管理(0.5点)	—	71.6	66.0	—	70.6		75.9
	技術者確保数(0.5点)	—	85.3	72.0	—	83.0		82.3
	○小計	(3.5点)	(4点)	(4点)	(3.5点)			
配置技術者の技術力	施工能力	(0.5点) 54.0	(1点) 47.8	(1点) 38.0	(0.5点) 43.1	49.1		52.4
	工事成績	(0.5点) 31.8	(1点) 32.8	(1点) 30.0	(0.5点) 31.5	31.8		31.5
	優良工事(1点)	—	4.3	10.0	—	5.3		4.3
	資格保有(0.5点)	—	66.4	74.0	—	67.7		57.7
	○小計	(1点)	(3.5点)	(3.5点)	(1点)			

総合評価方式の実施状況について(平成25年度の契約実績)

項目	特別簡易型	簡易型	標準型	復興型	計	参考H24計	結果(備考)	
企業の地域社会に対する貢献度	障がい者雇用(0.5点)	—	57.3	46.0	—	55.3	51.3	・「県内業者活用」が高い得点割合となった。 ・H24と比べ「子育て応援」、「仕事と生活の調和」での得点割合が大きく増加した。
	安全管理(0.5点)	—	49.1	60.0	—	51.1	56.0	
	環境配慮(0.5点)	—	60.8	62.0	—	61.0	55.2	
	県内業者活用(1点)	—	88.4	64.0	—	84.0	75.8	
	子育て応援(0.5点)	—	67.2	32.0	—	61.0	47.0	
	仕事と生活の調和(0.5点)	—	78.9	46.0	—	73.1	59.3	
	新分野進出(1点)	—	59.9	34.0	—	55.3	47.8	
	同一市町村内工事実績	(1点) 91.4	(2.5点) 92.7	(2.5点) 78.0	(1点) 86.5	89.5	88.2	・各項目とも、高い得点割合で定着している。
	入札参加者の所在地	(1点) 87.0	(2.5点) 89.2	(2.5点) 44.0	(1点) 85.6	85.3	84.1	
	ボランティア	(0.5点) 82.8	(2点) 89.7	(2点) 34.0	(0.5点) 80.8	81.5	80.8	
	消防団継続加入	(0.5点) 76.8	(1点) 80.6	(1点) 46.0	(0.5点) 73.0	75.1	73.6	・項目毎の得点状況に大きな変化は見られない。  ※被災者等の雇用は、東日本大震災対応の評価項目である。 ※除雪・維持補修は一般土木工事又は舗装工事の場合に対象。
選択項目(2項目選択)	災害出動	(1.25点) 26.7	(2.5点) 35.3	(2.5点) 20.0	(1.25点) 26.3	27.7	27.4	
	災害応援協定	(1.25点) 53.3	(2.5点) 48.7	(2.5点) 18.0	(1.25点) 48.6	49.8	47.6	
	新卒・離職者の雇用実績	(1.25点) 18.6	(2.5点) 24.6	(2.5点) 12.0	(2.5点) 19.2	19.5	18.6	
	うち、東日本大震災による被災者等の雇用	2.7	3.0	0.0	3.6	2.9	3.6	
	雇用の維持・確保	(1.25点) 13.9	(2.5点) 11.2	(2.5点) 6.0	(1.25点) 15.2	13.5	12.8	
	うち、東日本大震災による被災者等の雇用	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	0.4	
除雪・維持補修	(1.25点) 57.2	(2.5点) 55.6	(2.5点) 22.0	(1.25点) 52.4	54.1	56.2		
○小計	(5.5点)	(17.5点)	(17.5点)	(5.5点)				
技術提案	施工計画の適切性(10点)	—	66.2	42.4	—	62.5	58.6	・標準型の「課題に対する提案」の単純平均加算点は20点満点で9.5点、40点満点で36.0点となっている。
	課題(テーマ)に対する提案(20点又は40点)	—	—	49.0	—	49.0	55.6	
	○小計		(10点)	(30又は50点)				
特別配点	東日本大震災等への対応	(0.5点) 36.0	(1点) 41.8	(1点) 30.0	(0.5点) 45.5	39.5	36.5	得点割合は3割強となっている。
備考	<p>・平成25年9月に行った「最低制限価格等の見直し」により、落札率の上昇や、評価基準価格及び調査基準価格を下回った件数の減少などに繋がった。</p> <p>・平成25年4月より「誓約書の提出により低入札価格調査に代えることができるものとする。」としたが、誓約書の提出により契約した案件(27件)のほとんどが繰越工事であり工事の成績点への反映は平成26年度になるので、引き続き検証を行う必要がある。</p>							